

第1問

I (1) 最高点の x 座標を x_1 とする。エネルギー保存則より,

$$mgx_1 \sin \theta_1 - \frac{1}{2}mv_0^2 = -\mu' mg \cos \theta_1 \cdot x_1 \quad \therefore x_1 = \frac{v_0^2}{2g(\sin \theta_1 + \mu' \cos \theta_1)}$$

(2) 戻ったときの速度を v_1 とする。エネルギー保存則より,

$$\frac{1}{2}mv_1^2 - \frac{1}{2}mv_0^2 = -2\mu' mgx_1 \cos \theta_1 \quad \therefore v_1 = -\sqrt{\frac{\sin \theta_1 - \mu' \cos \theta_1}{\sin \theta_1 + \mu' \cos \theta_1}} \cdot v_0$$

II (1) 物体 A の加速度を a_2 として、運動方程式は,

$$ma_2 = \mu' mg \cos \theta_2 - mg \sin \theta_2 \quad \therefore a_2 = g(\mu' \cos \theta_2 - \sin \theta_2)$$

物体 A の速度がベルトと等しくなる時刻は $\frac{V}{g(\mu' \cos \theta_2 - \sin \theta_2)}$ であり、この時刻以降は等速度運動になる。

よって、時刻 t における速度は、

$$\frac{(\mu' \cos \theta_2 - \sin \theta_2)gt}{V} \quad \left(0 < t \leq \frac{V}{g(\mu' \cos \theta_2 - \sin \theta_2)} \right)$$

$$\frac{V}{g(\mu' \cos \theta_2 - \sin \theta_2)} \quad \left(t > \frac{V}{g(\mu' \cos \theta_2 - \sin \theta_2)} \right)$$

(2) 物体 A が原点に戻ったときの速度は、 v_0

III (1) 物体 B の力のつり合いは,

$$kd_0 - mg \sin \theta_3 = 0 \quad \therefore d_0 = \frac{mg \sin \theta_3}{k}$$

(2) 物体 A の力のつり合いは,

$$\mu' mg \cos \theta_3 - kd_0 - mg \sin \theta_3 = 0 \quad (1) \text{を用いて}, \mu' = \frac{2 \tan \theta_3}{V}$$

(3) 物体 A と物体 B の重心加速度 a_G は、 $a_G = \frac{\mu' \cos \theta_3 - 2 \sin \theta_3}{2} g = 0$

よって、 $v_G = \frac{V}{2}$

(4) 重心 G に対する物体 B の相対速度は、 $v_{GB} = \frac{V}{2} \cos \sqrt{\frac{2k}{m}} t$

物体 B の速度 v_B は、 $v_B = v_{GB} + v_G$ よって、 $v_B = \frac{V}{2} + \frac{V}{2} \cos \sqrt{\frac{2k}{m}} t$

物体 A の速度 v_A は、 $v_A = \frac{V}{2} \left(1 - \cos \sqrt{\frac{2k}{m}} t \right)$

$t = t_1$ で $v_A = V$ となるので、 $t_1 = \pi \sqrt{\frac{m}{2k}}$

(5) 物体 A に対する物体 B の速度 v_{AB} は、 $v_{AB} = -V \cos \sqrt{\frac{k}{m}} (t - t_1)$

物体 B の速度 v_B は、 $v_B = v_{AB} + V = V \left\{ 1 - \cos \sqrt{\frac{k}{m}} (t - t_1) \right\}$

(6) 物体 A に対する物体 B の単振動の振幅は、 $V \sqrt{\frac{m}{k}}$

ばねの最大の伸びは、 $d_0 + V \sqrt{\frac{m}{k}}$ で、このときの物体 A にはたらく静止摩擦力は $k \left(d_0 + V \sqrt{\frac{m}{k}} \right) + mg \sin \theta_3$

物体 A がベルトに対して静止する条件は $k \left(d_0 + V \sqrt{\frac{m}{k}} \right) + mg \sin \theta_3 \leq \mu mg \cos \theta_3$

(1)の答を用いて

$$\mu \geq 2 \tan \theta_3 + \frac{V}{g \cos \theta_3} \sqrt{\frac{k}{m}}$$

第2問

I (1) 下電極と金属板がつくるコンデンサーの電気容量を C とすると $C = \frac{\epsilon L^2}{d}$ なので、下電極と金属板の

電位差は $\frac{Q}{C} = \frac{d}{\epsilon L^2} Q$ となり、求める電位は $-\frac{d}{\epsilon L^2} Q$

(2) 同じ電気容量のコンデンサーの並列接続とみなせるので、 $\frac{Q}{2}$

(3) 上電極と誘電体の間の電場を E_0 とすると、 $E_0 = \frac{Q}{2\epsilon_0 L^2}$

求める座標を z_0 とすると力のつり合いより $\frac{1}{2} \times \frac{Q}{2} \times E_0 = k(h_0 - z_0)$ $\therefore z_0 = h_0 - \frac{Q^2}{8k\epsilon_0 L^2}$

(4) 誘電体内の電場が金属板の上下で、同じ大きさで向きが反対なので $z=0$ の電位も 0 になる。従って求める電位は、 $E_0 z_0 = \frac{Q}{2\epsilon_0 L^2} \left(h_0 - \frac{Q^2}{8k\epsilon_0 L^2} \right)$

II (1) 单振動の中心座標が z_0 であり、 $z=h_1$ は上端なので、 $h_1 = 2z_0 = 2 \left(h_0 - \frac{Q^2}{8k\epsilon_0 L^2} \right)$

(2) 上電極と誘電体上面がつくるコンデンサーの電気容量を C_1 とすると、

スイッチを閉じる前に蓄えられていたエネルギーは、 $U_1 = \frac{1}{2C_1} \left(\frac{Q}{2} \right)^2 + 2 \times \frac{1}{2C} \left(\frac{Q}{2} \right)^2$

スイッチを閉じて十分に長い時間が経った後は、 $U_2 = \frac{1}{2C_1} \left(\frac{Q}{10} \right)^2 + \frac{1}{2C} \left(\frac{Q}{10} \right)^2 + \frac{1}{2C} \left(\frac{9Q}{10} \right)^2$

求める発熱量を W_1 とすると、 $W_1 = U_1 - U_2$

$C_1 = \frac{\epsilon_0 L^2}{h_1}$, $C = \frac{\epsilon L^2}{d}$ なので $W_1 = \frac{Q^2}{25L^2} \left(\frac{3h_1}{\epsilon_0} - \frac{4d}{\epsilon} \right)$

(3) 最低点が $z=0$ なので、おもりを乗せた後の单振動の中心座標も I (3)と同じ z_0 でなければならない。

おもりの質量を M とする。電荷の減少後の上電極と誘電体の間の電場を E_1 とすると、 $E_1 = \frac{Q}{10\epsilon_0 L^2}$

電荷が移動したことによって上電極にかかる鉛直下向きの力は $\frac{1}{2} \times \frac{Q}{2} \times E_0 - \frac{1}{2} \times \frac{Q}{10} \times E_1$ だけ減少する。

これが Mg と等しければよいので、 $M = \frac{3Q^2}{25g\epsilon_0 L^2}$

(4) 再びスイッチを閉じて十分に長い時間が経った後の発熱量を W_2 とすると、

$W_2 = \frac{1}{2C} \left(\frac{Q}{10} \right)^2 + \frac{1}{2C} \left(\frac{9Q}{10} \right)^2 - 2 \times \frac{1}{2C} \left(\frac{Q}{2} \right)^2$ なので

$W_1 + W_2 = \frac{1}{2C_1} \left(\frac{Q}{2} \right)^2 - \frac{1}{2C_1} \left(\frac{Q}{10} \right)^2 = \frac{3Q^2}{25\epsilon_0 L^2} h_1$

(別解) 発熱量の合計はおもりの位置エネルギーの減少分に等しいので、 $Mgh_1 = \frac{3Q^2}{25\epsilon_0 L^2} h_1$

第3問

$$\text{I (1)} \quad t_1 = \frac{L}{V} \quad \text{であり, 求める時刻は, } \underline{t_1 + \frac{L - v_s t_1}{V} = \left(2 - \frac{v_s}{V}\right) \frac{L}{V}}$$

$$(2) \quad \text{観測される音波の振動数は } \underline{\frac{V}{V - v_s} f_0} \quad \text{であり, その1周期だから, } \underline{\frac{V - v_s}{V f_0}}$$

$$(3) \quad \underline{\frac{V + v_s}{V - v_s} f_0 - f_0 = \frac{2v_s}{V - v_s} f_0}$$

$$(4) \quad \text{うなりが観測され始めるのは, 音源が点Qを通過直後だから, その時刻は } \underline{\frac{L}{2v_s}}$$

$$\text{うなりの振動数は, } \underline{\left| \frac{V}{V - v_s} - \frac{V}{V + v_s} \right| f_0 = \frac{2v_s V}{V^2 - v_s^2} f_0}$$

$$\text{II (1) うなりの振動数は, } f_h = \left| \left(2 - \frac{2L_0}{TV}\right) - 2 \right| f_1 = \frac{2L_0}{TV} f_1$$

$$\text{よって, } L_0 = \underline{\frac{f_h}{2f_1} TV}$$

$$(2) \quad f_A(t) = \left(2 - \frac{t}{T}\right) f_1 \quad \text{とおく。} \quad t_{A0} = \frac{2L_A}{V} \quad \text{であり, 観測される振動数は}$$

$$\text{直接音: } f_A(t_{A0}) = \left(2 - \frac{t_{A0}}{T}\right) f_1 \quad \text{反射音: } \frac{V + v_r}{V - v_r} \cdot f_A(0) = \frac{V + v_r}{V - v_r} \cdot 2f_1$$

(A) では反射音の方が振動数が大きいから, うなりの振動数は

$$\underline{\frac{V + v_r}{V - v_r} \cdot 2f_1 - \left(2 - \frac{t_{A0}}{T}\right) f_1 = 2 \left(\frac{2v_r}{V - v_r} + \frac{L_A}{VT} \right) f_1}$$

$$(3) \quad f_B(t) = \left(1 + \frac{t}{T}\right) f_1 \quad \text{とおく。} \quad t_B = t_s + \frac{2L_B}{V} \quad \text{であり, 観測される振動数は}$$

$$\text{直接音: } f_B(t_B) = \left(1 + \frac{t_B}{T}\right) f_1 \quad \text{反射音: } \frac{V + v_r}{V - v_r} \cdot f_B(t_s) = \frac{V + v_r}{V - v_r} \cdot \left(1 + \frac{t_s}{T}\right) f_1$$

(B) では直接音の方が振動数が大きいから, うなりの振動数は

$$\underline{\left(1 + \frac{t_B}{T}\right) f_1 - \frac{V + v_r}{V - v_r} \cdot \left(1 + \frac{t_s}{T}\right) f_1 = 2 \left\{ \frac{L_B}{VT} - \frac{v_r}{V - v_r} \cdot \left(1 + \frac{t_s}{T}\right) \right\} f_1}$$

(4) 音波が反射するときの反射板の位置を L として,

$$f_h^A = 2 \left(\frac{2v_r}{V - v_r} + \frac{L}{VT} \right) f_i \quad f_h^B = 2 \left(\frac{L}{VT} - \frac{v_r}{V - v_r} \right) f_i$$

であり,

$$\Delta f_h = \left| f_h^A - f_h^B \right| = \underline{\frac{6v_r}{V - v_r} f_i}$$

(5) (4)の結果より,

$$v_r = \frac{\Delta f_h}{6f_i + \Delta f_h} V = \frac{5.0 \times 10^2}{6 \times 3.0 \times 10^4 + 5.0 \times 10^2} \times 3.4 \times 10^2 \doteq \underline{0.94 \text{m/s}}$$